

令和7年産 JA米 乾田V溝直播栽培こよみ(コシヒカリ)

～移植と直播の組み合わせで作期分散！機械・施設を有効利用～

あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

※肥料・農薬名は農協の推奨品目です

収量構成要素

構成要素	目標値
10a当たり収量	540kg
m ² 当たり穂数	340本
1穂粒数	80粒
m ² 当たり粒数	27,000粒
登熟歩合	85%
玄米千粒重	23.5g

播種量・施肥量の目安

土壌区分	施肥量 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)
沖積	砂壤土	23kg
	壤土	21kg
	埴壤土	21kg
洪積土壌	23kg	乾籾 6~8kg
復元田	25~28kg	



播種・施肥作業

播種後3日までに
通水処理で
出芽・苗立ちを
促進しよう！



出芽・苗立
(除草剤②のタイミング)

生育期の目安

播種時期	出芽期	幼穂形成期	出穂期	成熟期
4月中旬	5月18日	7月20日	8月12日	9月22日
4月下旬	5月23日	7月23日	8月14日	9月27日
※移植 コシヒカリ	5月15日 田植え	7月10日頃	8月3日頃	9月10日頃

カメムシ対策の為、収穫後も畦畔雑草を処理しましょう

作業の後は忘れず正確に記録しおまかせ

◇種子処理剤で病害虫防除◇

種子処理の手順

- 種籾・器具・薬剤の準備**
種籾、計量カップ、攪はん棒、種子処理剤(処理量は右参照)、種子被覆材(ペリディウム)、種子コーティング機(コンクリートミキサー)
- 種子処理剤を計量、混合する**
計量カップにそれぞれの種子処理剤(3剤)と種子被覆材を計量し、均一に混ぜるまで攪はんする。
- 薬剤の投入**
種子コーティング機に種籾を投入し、中心部にほみを作り、そこに薬剤を規定量投入し、薬剤の上に種籾を被せる。
- コーティング機の回転**
コーティング機を回転させ、薬剤を均一に付着させる。
- シート上に広げ、風乾する**
シート上に処理済み種籾を広げ、24時間以上通風乾燥する。乾きやすい様に薄く広げる。乾燥後の種籾が固まっている場合は、ほぐす。

いもち病対策
農薬名:ルーチンシードFS
使用量:8mL/乾籾1kg

紋枯病対策
農薬名:エバーゴルスードFS
使用量:5mL/乾籾1kg

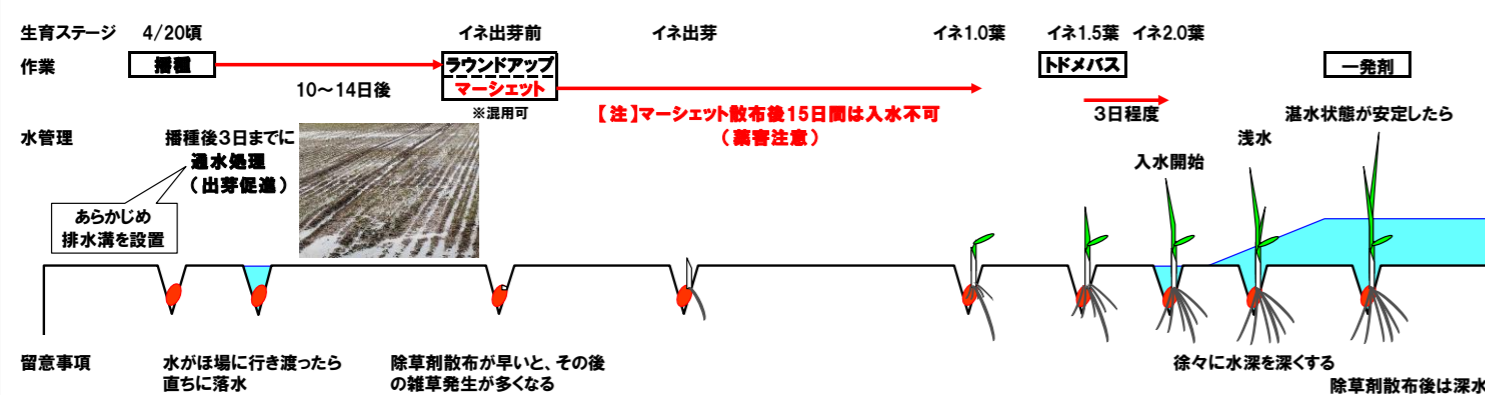
初期害虫対策
農薬名:ヨーバルシードFS
使用量:6mL/乾籾1kg



十分に乾燥した後は低温庫で保存可能なので、冬期間の処理がおすすめです。

月	10月	11月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
水管理				好天が続く場合は通水	中干しは行わない		落水:収穫3~4日前		
栽培管理のポイント	ほ場の準備			播種	出芽安定・除草		基本・随時防除	適期収穫	作付計画
	<ul style="list-style-type: none"> 〇畔塗り(漏水防止) 〇土壌改良資材散布 〇耕起・代かき <p>・代かきは均平を心がけ、わらや稲株を確実にすき込む。 ・代かき後、大きな水たまりがなくなった頃に排水溝を設置し、ほ場の乾燥に努める。</p> <p>・品質向上のため、必ずケイ酸質資材を施用し、地力に応じて堆肥を施用する。 ケイ酸質資材:60~100kg/10a 堆肥:1~2t/10a</p> <p>・基肥に含まれないリン酸・カリは、代かき前に施用する。 PKケイ酸:40~60kg/10a</p>			<ul style="list-style-type: none"> 〇種子処理 〇播種・施肥作業 <p>・播種時期:4月中旬~下旬 ・トラクターのわだちができない程度にはほ場が十分に乾燥した状態で播種する。 ※播種後3日までに必ず通水処理を行い、出芽を促進する。(通水後は速やかに排水する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇除草剤①散布 〇除草剤②散布 〇除草剤③散布 <p>〇畦畔・農道等の草刈の徹底</p> <p>〇随時防除(穂ばらみ期)</p> <p>〇落水は急がない</p>		<p>基本防除(穂揃期)</p> <p>随時防除(カメムシ常発地・多発時)</p> <p>穂揃期と傾穂期でカメムシ防除を徹底</p> <p>基本防除(傾穂期)</p>	<p>適期収穫</p> <p>〇初黄化率85~90%を目安に適期刈取の実施</p> <p>〇落水は急がない</p>	<p>作付計画</p> <p>〇品種を作付</p> <p>〇漏生籾による混種を避けるため前年と同一</p> <p>〇入水後の水持ちの良いほ場</p> <p>〇強粘質田は避ける</p> <p>〇播種時にほ場が乾く排水良好田</p> <p>〇冬期代かき用水が確保できる地域</p>

播種後の水管理と除草体系(イメージ)



時期	除草剤名	薬量(10a当たり)	散布水量(10a当たり)	備考
①出芽前(は種後10~14日後)	ラウンドアップマックスロード	200~500mL	25~50L	周辺田への飛散に注意
	マーシェット乳剤	1,000~1,500mL	25~50L	雑草発生前、入水15日前まで
②入水直前(イネ1.5葉)	トドメバスMF液剤	1,000mL	100L	散布後3日間は入水しない
	ベツカク粒剤	1kg		稲1葉~、ノヒエ3.0葉まで
③入水後	ゼータタイガージャンボ	300g(10パック)		稲1葉~、ノヒエ3.0葉まで
	プライオリティジャンボ	250g(10パック)		稲出芽揃期~、ノヒエ3.5葉まで
	レプラス粒剤	1kg		稲2葉~、ノヒエ4.0葉まで
	レプラスジャンボ	400g(10パック)		稲2葉~、ノヒエ4.0葉まで
(雑草が残った場合)	ウィードコア粒剤、ロイヤント乳剤、ハサグラン粒剤・液剤、トドメバスMF液剤、トドメMF粒剤・乳剤 等			

栽培記録	区分	ケイ酸質資材・肥料名	施用年月日	施用量	本田管理(作業開始日)	耕起	月	日	代かき	月	日	播種日	月	日	刈取日	月	日	区分	農薬名	処理・散布年月日	散布量		
	土づくり			月 日	kg/10a	区分	通水	月 日	月 日	落水	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	病虫害防除	ルーチンシードFS	月 日	mL/種子1kg	
施肥	基肥		月 日	kg/10a	除草														エバーゴルスードFS	月 日	mL/種子1kg		
	追肥		月 日	kg/10a																ヨーバルシードFS	月 日	mL/種子1kg	
			月 日	kg/10a																		月 日	/10a
			月 日	kg/10a																		月 日	/10a

食の安全は栽培記録とGAPの確実な実践から